

令和元年台風19号における太陽電池発電設備の被害状況一覧

参考資料 3

被害事象	場所	出力	事故の概要	ハザードマップ 浸水想定区域
浸水	群馬県高崎市	1,980 kW	河川氾濫によりPCS、パネル、受変電設備が浸水	
〃	群馬県高崎市	1,750 kW	河川氾濫によりPCS、パネル、受変電設備が浸水	
〃	群馬県高崎市	1,250 kW	河川氾濫によりPCS、受変電設備が浸水	
〃	群馬県太田市	509 kW	河川氾濫によりPCS、パネル、受変電設備が浸水	
〃	栃木県那須烏山市	1,980 kW	河川氾濫によりPCS,受変電設備が浸水	浸水想定区域
〃	栃木県那須烏山市	990 kW	河川氾濫によりPCS,受変電設備が浸水	浸水想定区域
〃	福島県伊達市	1,238 kW	河川氾濫によりPCS,パネルが浸水	浸水想定区域
〃	福島県国見町	1,500 kW	河川氾濫によりパネル、受変電設備が浸水	浸水想定区域
〃	福島県南相馬市	45,500 kW	河川氾濫によりパネル、受変電設備が浸水	
〃	福島県南相馬市	583 kW	河川氾濫によりPCS,パネル、受変電設備が浸水	
〃	福島県いわき市	500 kW	河川氾濫によりPCSが浸水	浸水想定区域
〃	宮城県角田市	1,990kW	河川氾濫により接続箱が浸水	浸水想定区域
〃	宮城県角田市	500 kW	河川氾濫により接続箱が浸水	浸水想定区域
〃	宮城県角田市	500 kW	河川氾濫により接続箱が浸水	浸水想定区域
〃	宮城県南三陸町	1,480 kW	河川氾濫によりPCS、パネル、受変電設備が浸水	
〃	埼玉県朝霞市	977 kW	河川氾濫によりパネル、受変電設備が浸水	浸水想定区域
土砂崩落	福島県須賀川市	21,000 kW	市道が崩落し、土砂が発電所内に流入。パネル埋没	
強風損壊	新潟県新潟市	1,300 kW	パネルが架台から脱落（構外への飛散はなし）	

注) 上記以外にも、SNS上において、事故報告の対象となっていない事故も発生していることに留意が必要。

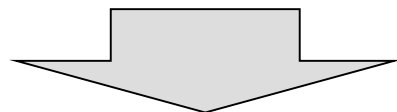
令和元年台風19号における太陽電池発電設備の浸水被害状況

- 産業保安監督部へ提出された事故報告の多くは河川氾濫による**設備の浸水**によるもの

	被害件数	被害概要		
		浸水	土砂崩落	強風損壊
2,000kW以上	2	1	1	-
500kW以上2,000kW未満	16	15	-	1
50kW以上500kW未満	0	-	-	-
合計（発電所数）	18	16	1	1

表：電気事業法第106条の電気関係報告規則第3条に基づき各産業保安監督部へ提出された事故報告（10月23日時点）

浸水被害のあった16件の設置場所について、国土交通省が運営する「ハザードマップポータルサイト」で浸水被害想定区域内に設置されていたか調査を実施。



16件中9件が浸水被害想定区域内に設置されていたことが確認された。

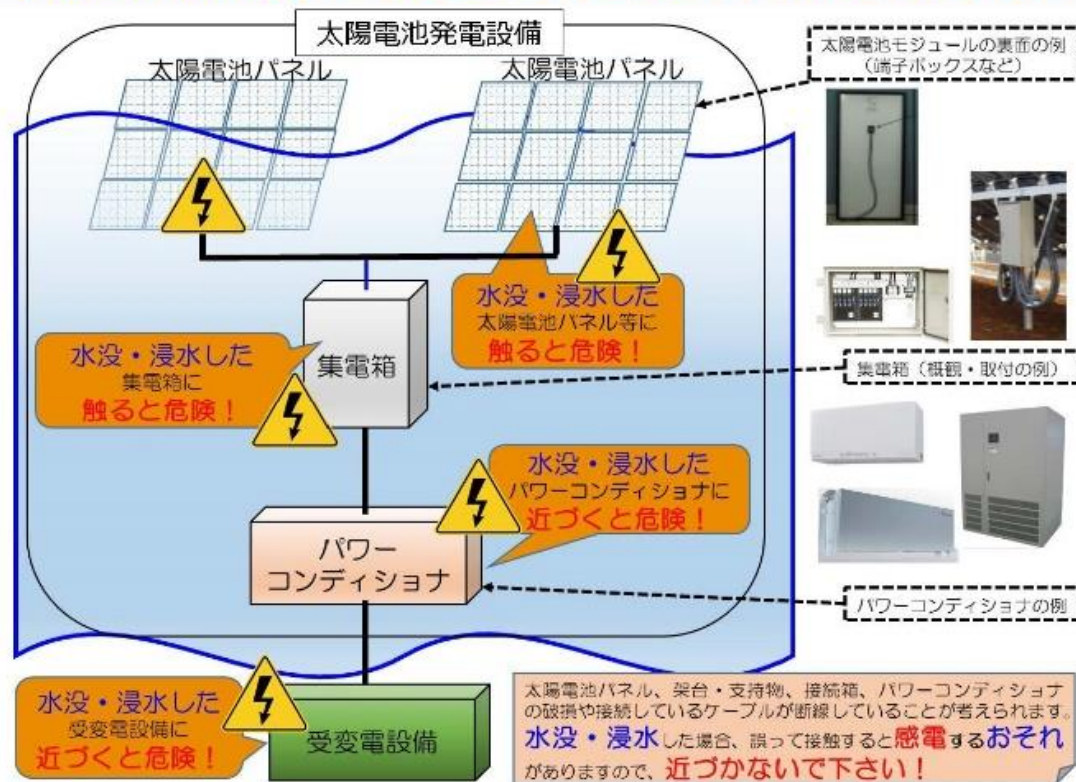


図：国土交通省が運営する「ハザードマップポータルサイト」より

令和元年台風19号で浸水被害を受けた太陽電池発電設備への対応

- 台風等による太陽電池発電設備の浸水時の感電のおそれについて、経産省HPで注意喚起を実施
- また、発災直後に公式Twitterを通じて、注意喚起を実施。

水没・浸水した太陽電池発電設備に近づくと非常に危険です。



【図 経産省の太陽電池発電設備の感電防止を呼びかけるページ】